

議員数削減提案理由について

本案は議員定数を削減しようとするものです。習志野市議会では、これまで平成10年12月に32名から30名へ定数条例の改正が行われました。その後、習志野市議会にて定数条例の改正は行われず現在に至ります。地方自治法改正により、議員定数の法定条件が撤廃されて以降、全国の地方議会において議員定数の削減が実施されています。

また、千葉県内の習志野市とほぼ同規模の人口の自治体として流山市・八千代市・浦安市・佐倉市・野田市がありますが、浦安市を除くこれらの自治体は、議員定数は28名と改正をされました。地方自治体は、二元代表制という市民が直接首長と議員を選挙で選出されるものです。市議会において最も重要なものは議決権だと認識しております。

首長は提案者でありそれを調査・審査し議員は市長提案を議決し健全な市政運営が行われております。さらに市議会において市長提案の議案以外にも各議員から首長（市長）に対し議員は、一般質問などで多くの地域課題解決に向けて訴える重要な機会が設けられております。

自治体の抱える諸問題に対し、議員を削減することに不安を感じる部分もありますが、習志野市には、現在16コミュニティにおいて「まちづくり会議」が存在し、地域・学校を含め毎年カーブミラーの設置や防犯灯の設置など様々な地域要望として提出する機会があり、地域住民の安心安全のまちづくりににとって重要な役割を果たしていると認識しております。

このようなことを鑑み今回、来年4月に行われる統一地方選挙を控え、この時期に議員定数を決定し、広く市民に周知していくことは、本議会において重要なことと認識するものであります。

よって、これまでの代表者会議の議論等を踏まえ、本議会の定数を28人とすることを提案いたします。

《会派》元氣な習志野をつくる会 議員プロフィール

①生年月日 ②住所 ③電話 ④当選回数 ⑤所属常任委員会 ⑥その他 ⑦HP等



たなか しん たろう
田中 真太郎

①1953年6月11日
②藤崎3-20-15
③047 (473) 6637
④4回
⑤都市環境常任委員会
⑥議会運営委員会委員長
会派代表



しみず だい すけ
清水 大輔

①1971年4月8日
②新沼3-14-18
③090 (3816) 4413
④4回
⑤習志野市議会 第30代 議長
⑥https://www.facebook.com/daisuke.shimizu3



あい はら かず ゆき
相原 和幸

①1971年10月2日
②新沼1-11-14
③090 (2478) 7979
④3回
⑤総務常任委員会 委員長
⑥習志野市環境審議会
⑦http://aiharal002.com



い い の う よ し まさ
飯生 喜正

①1959年3月1日
②栗根2-5-5
③047 (476) 0520
④2回
⑤文教福祉常任委員会
⑥千葉県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会 委員
習志野市議会議員団 団長



せ き ね ひ ろ ゆき
関根 洋幸

①1966年7月13日
②谷津5-29-6
③047 (779) 4092
④2回
⑤協働経済常任委員会 副委員長
⑥議会運営委員会
⑦http://sekine-hiroyuki.jp



た か は し ま さ あき
高橋 正明

①1961年10月26日
②東習志野6-13-25
③047 (472) 4520
④1回
⑤都市環境常任委員会 副委員長
⑥議会編集委員会

市政だより

令和4年12月発行

会派 元氣な習志野をつくる会



会派代表
たなか しん たろう
田中 真太郎

習志野市の
未来のために！

地域の 安全・安心
の推進

市議会議員長
しみず だい すけ
清水 大輔



総務常任委員会 委員長
あい はら かず ゆき
相原 和幸

輝く習志野を
目指して 前進

地域の生活視点で
活力 ある街づくり

習志野市議会議員団 団長
い い の う よ し まさ
飯生 喜正



協働経済常任委員会 副委員長
せ き ね ひ ろ ゆき
関根 洋幸

今こそ 若い力で
新しい習志野

市民が安心して
暮らせる まちづくり

都市環境常任委員会 副委員長
た か は し ま さ あき
高橋 正明



表 2

令和5年度 予算編成に関する要望項目

令和4年10月

要望事項	要望内容
新型コロナウイルス対策	検査体制の充実
普通建設事業費の増額 (まちづくり要望)	①藤崎3丁目児童遊園及び若松公園の樹木の伐採 ②各小中学校周辺の道路区画線の更新 ③マラソン道路未整備部分の促進(東習志野～新栄) ④しおかぜホール茜浜への交通アクセスの新設 ⑤3・4・8号線の整備促進及び代替用地の確保 ⑥3・3・1号線の拡幅及び立体化事業の推進 ⑦3・3・3号線の完成の前倒し
区画整理の推進	実初三丁目の土地区画整理事業の積極的な推進
高潮対策の推進	高瀬川、菊田川、谷津川の水門の早期実現・着工
交通安全対策	自転車専用レーンの整備
児童の安全対策	登下校見守りサービスの実施
土砂災害対策	実初地区急傾斜地崩壊の早急な対策
地域総合型スポーツクラブの推進	①空白地域への取組み強化 ②施設、グラウンド整備
健康寿命の延伸	ならしの歯科健診の未受診者勧奨
都市宣言の制定	SDGs 未来都市認定及び推進体制整備
認知症対策	認知症検査への助成
公共施設サービスの充実	①公共施設への防犯カメラの設置 ②公共施設へのフリー Wi-Fi の設置
習志野文化ホールの整備	南口再開発の確実な推進と開発支援
デジタル化の推進	①町会・自治会活動のデジタル化の推進 ②地域コインの導入
教育環境の充実	①ティーチングアドバイザー制度の継続 ②タブレット端末を最大限活用した教育の展開 ③ALT の全校配置及び姉妹都市 ALT の継続 ④教育相談員の全小中学校への配置 ⑤学校司書の全小中学校への配置
子育て環境の充実	高校3年生までの医療費助成の検討
ハッピーバスの運賃無償化	後期高齢者及び運転免許証返納者に対し、運賃の無償化

令和5年度 予算要望 宮本市長に提出!!



会派・元氣な習志野をつくる会は令和4年10月28日に令和5年度予算編成に関する要望書を宮本市長に提出いたしました。主な要望としましては、令和5年3月末をもって閉館となる習志野文化ホールの現在地への再建設を含めた JR 津田沼駅南口再開発の確実な推進をはじめ、子育て環境、教育環境の更なる充実、各種災害への対策等を含めた都市環境の整備、健康寿命の延伸を図る施策の実施や認知症対策、ICT を活用した市内全体のデジタル化の推進等を要望いたしました。今後も市長と積極的な意見交換を図り、一つでも多くの市民の声が反映されるよう活動してまいります。

表 3

議員定数削減案否決!!

※議長(「元氣な習志野をつくる会」 清水大輔)は採決に加わらないため、－で表しています
※○は賛成、×は反対を表しています

議案番号・受理番号		受理番号第103号	発議案第2号	受理番号第105号	受理番号第110号
議員定数		5名削減	2名削減	削減なし	1名削減
種類		請願	発議案	陳情	陳情
件名		習志野市議会議員定数を5名削減することを求める請願	習志野市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について 提出者：相原 和幸 (元氣な習志野をつくる会)	習志野市議会の定数削減を行わない事を求める陳情	習志野市議会議員定数を1名削減することを求める陳情
議決結果		不採択 / 賛成少数	否決 / 賛成少数	不採択 / 賛成少数	不採択 / 賛成少数
元氣な 習志野を つくる会	相原 和幸	×	○	×	○
	飯生 喜正	×	○	×	○
	清水 大輔	-	-	-	-
	関根 洋幸	×	○	×	○
	高橋 正明	×	○	×	欠席
	田中 真太郎	×	○	×	○
真政会	鮎川 由美	×	×	○	×
	荒木 和幸	×	×	○	×
	斉藤 賢治	×	×	○	×
	佐々木 秀一	×	×	○	×
	宮本 博之	×	×	○	×
公明党	小川 利枝子	×	×	×	×
	木村 孝浩	×	×	×	×
	清水 晴一	×	×	×	×
	布施 孝一	×	×	×	×
	真船 和子	×	×	×	×
環境みらい	市角 雄幸	×	×	○	×
	市瀬 健治	×	×	○	×
	央 重則	×	×	○	×
	中山 恭順	×	×	○	×
日本共産党	荒原 ちえみ	×	×	○	×
	入沢 俊行	×	×	○	×
	谷岡 隆	×	×	○	×
民意と歩む会	木村 孝	○	○	×	○
	宮城 壮一	○	○	×	○
市民の会	宮内 一夫	×	×	○	×
新社会の会	藤崎 ちさこ	×	○	×	○
都市政策研究会	平川 博文	×	○	×	×

元氣な習志野をつくる会